

平成 30 年 12 月 21 日

各 位

会社名 東京貴宝株式会社  
代表者 代表取締役社長 政木 喜仁  
(コード番号 7597)  
問合せ先 執行役員管理部長 染 未良生  
(TEL 03-3834-6261)

## 特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成31年3月期（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の第3四半期において過年度決算訂正関連費用を特別損失に計上するとともに、平成30年5月15日に公表した平成31年3月期の通期業績予想の修正につきまして、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 過年度決算訂正関連費用(特別損失)の計上

当社は、平成30年11月1日付「第三者委員会設置に関するお知らせ」において開示致しましたとおり、前代表取締役社長のプライベートカンパニーである株式会社ジョイ、株式会社イースト、株式会社プラス（以下、当該3社）との取引について競業避止義務違反の疑義があることから、これまで当社と利害関係を有していなかった外部専門家たる弁護士・公認会計士による第三者委員会を設置し、調査を実施いたしました。当該3社の経理帳簿類は大半が手書きによるものであり、また、外部関係者の聴取も必要となったことから、想定以上の調査期間が必要となる事態となり、相応の調査費用が発生いたしました。

また、当該第三者委員会の調査結果を踏まえ、過年度決算訂正の必要が生じたため、平成30年12月14日付「過年度に係る有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度に係る決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、有価証券報告書等の訂正を実施しております。本件に伴う、会計監査人の訂正監査費用及び外部委託費用等も併せて発生いたしました。

上記費用を過年度決算訂正関連費用(特別損失)として、平成31年3月期第3四半期において約91百万円を計上する予定であります。

#### 2. 平成31年3月期通期業績予想値の修正

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,042	110	177	146	331.89
今回修正予想(B)	4,746	50	111	8	19.01
増減額(B-A)	△295	△60	△65	△138	
増減率(%)	△5.9	△54.5	△37.1	△94.3	
(ご参考) 前期実績 (平成30年3月期)	4,908	62	82	56	126.82

※ 当社は、平成29年10月1日付で、普通株式について10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり当期純利益については、前期及び当期ともに当該株式併合の影響を考慮しております。

### 3. 修正の理由

平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績が予想を下回る結果となり、通期予想に反映させております。下半期におきましても、宝飾品に対する消費マインドの冷え込みから売上高が当初予想より落ち込むと判断しており、前述の過年度決算訂正関連費用（特別損失）の計上と合わせ、営業利益、経常利益、当期純利益の各段階で平成 30 年 5 月 15 日に公表した予想を大きく下回る予想となっております。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。実際の業績等は、さまざまな重要な要素により、本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上